

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年3月23日

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C		
横断的な課題	木曾らしさを活かした観光振興						
地域重点政策	木曾らしさを活かした観光振興					木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	木曾地域広域観光推進事業				電話	0264-25-2212	
				E-mail	kisochi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	観光需要を地域経済に取り込み、持続可能な観光地域づくり及び広域的な観光の推進のため、地域の観光関係者の役割を明確にしたアクションプランの作成を行う。作成にあたり、関係者の共通認識をつくり、議論の地俵えをするため、地域の観光関係者で集まり広域的な課題を共有し、より自分事として広域観光を地域一丸となって考えていくための会議を開催する。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾地域の観光は日帰りが多く、平均泊数、消費額が少ない通過型であり、観光需要を地域経済に取り込めていない。 ・滞在時間の延長につながるようなコンテンツがないわけではないが、プロモーションが主に町村単位で行われ、発信力が小さいため、地域のなかでコンテンツを周遊してもらい、長い時間滞在してもらうような仕組みができていない。 ・広域的な情報発信を担う組織として木曾観光連盟が存在しているが、コロナ禍等により事業規模が縮小されており、観光客のニーズ把握や、ターゲットを明確にしたマーケティングまで手が回っていない。 ・誰が、何を、いつまでに行うべきという広域観光推進のためのより具体的な計画が策定されていない。 					
概要	内容 (変更後の内容)	<p>(1) 木曾地域観光政策研究会(5月、6月、7月、8月、12月、2月) グループディスカッション等を通して、木曾地域が広域的に連携して取り組むべき課題を洗い出し、全体で一つのビジョンを定め、それを具体的に推進していくためのアクションプランを作成するとともに、広域観光を担う人材育成を図る。初回については当局より外部講師を依頼し、アクションプランの作成に向けたキックオフを行う。広域観光の意義や事例等を紹介いただくとともに、全体の方向性についてアドバイスをいただきながら進める。 初回以降の会議については、木曾広域連合から講師を依頼し、当局はサポートという形で広域観光の推進に向けた具体的な取組内容を示したアクションプランの作成を行う。 ア 会員: 町村・広域連合観光担当者、木曾観光連盟、木曾おんたけ観光局(DMO) イ 検討事項: <ul style="list-style-type: none"> ・各町村の取組状況の共有(観光振興重点事項等) ・木曾地域が広域的に連携して取り組む共通テーマの明確化(絞り込み) ・目指すべき方向性(ビジョン)の明確化、ターゲット(地域、年齢層)の設定 ・事業計画の検討(組織体制、人材育成、ハード整備等) </p> <p>(2) 政策研究会の開催に向けた外部講師との事前勉強会及び打合せの実施 限られた時間の中で、より内容の濃い会議となるよう、事前に外部講師との事前勉強会及び打合せを行う。 当局及び木曾広域連合の意見と外部講師の意見のすり合わせを行い、(1)の研究会がより効果的なものとなり、アクションプランが具体的なものとなるように事前打合せを実施する。 ア 参加者: 木曾広域連合、外部講師、木曾地域振興局 イ 実施方法: WEB会議</p>					
	事業期間	R7. 5		～	R8. 3		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	木曾地域観光政策研究会	研修会の開催(6回)	250,000				
	外部講師との事前勉強会及び打合せ	WEB会議による打合せを実施	25,000				
	資料印刷費	会議資料の印刷	9,867	コピー使用料(13節)			
	合計		284,867				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	広域観光アクションプランの作成		1件	1件	● 達成		
	令和8年度における広域観光施策提案		1件	1件	○ 一部達成		
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・事前打合せでは、外部講師との打合せをすることで、今後の会議の進め方などを別の視点でアドバイスをもらうことができ、その後に開催した会議がより有意義なものとなった。 ・木曾地域観光政策研究会では、第1回で町村担当者の目線合わせを行い、講師による広域観光の利点等の講義により、目指すべき木曾の広域観光を考えることができた。その後、第2回以降では、木曾広域連合が別途開催する日本遺産を活かした広域周遊検討会の前段として行い、参加者間の情報共有を行うことで、その後の検討会で活発な議論をするためのよい足掛かりとすることができた。 ・本会議をきっかけとし、観光計画をもとに、具体的に事業を進めるためのアクションプラン(ロードマップ)を示すことができ、来年度以降にモニターツアーやガイド育成セミナー等の広域観光施策の提案がされた。 						
	今後の方向性	令和7年度に更新した「木曾観光地域づくり戦略」のビジョンに沿って広域観光推進体制を整備すべく、引き続き郡内関係者を参集し、広域観光推進のための組織について検討していく。					